

「明るい豊かな社会」の実現を理想とし、志高い若者によって立ち上げられた乙訓青年会議所は、創立当初から未来のまちを担う子供たちの育成に取り組んできました。人は人とともに成長することを念頭に、地域の大人が子供たちは乙訓の宝という認識と包容力をもち、愛郷心を育める環境づくりが必要です。

近年、パソコンや携帯電話などの急速な普及により、個人で過ごす時間が増加し、さらに、働き方の多様化に伴い、地域コミュニティの希薄化が進むことで、他人とのコミュニケーション能力や言葉による自己表現能力など、子供たちの社会的適応能力が低下している傾向にあります。そのような中、未来の宝である子供たちの育成事業を継続できることに感謝し、地域の大人が自らの言動を律し、手本となる意識をもって子供たちと積極的に関わり、社会での気づきや学びを伝え、人に親しみを感じる心を育成する必要があります。

ケイジャーズカップでは、選手が輝ける場を提供するために、実行委員会と連携し、スムーズな運営に努めます。乙訓文化少年団では、感性豊かな人財へと成長する礎を築くために、地域の大人を巻き込み、様々な経験や人間関係を構築する場を設けることで、友と楽しさや喜びを分かち合い、助け合う心を育みます。7月オープン例会では、子供たちが乙訓や地域の大人に親しみを感じる環境を築くために、大人たちに家庭や地域の中で子供たちに「愛」を伝える必要性を理解し、行動へと移して頂くことで、子供たちが愛を実感できる乙訓の創出に繋がります。乙訓ふるさとふれあい駅伝では、仲間とともに切磋琢磨し、乙訓を駆け抜けた思い出を愛郷心へと繋げるために、実行委員会や地域の大人との連携を強化し、選手が競技に集中できる環境を整えることで、選手として参加を夢見る子供たちの想いを繋ぎ、地域の大人の愛情を実感する心の成長に繋がります。乙訓DREAMフェスタでは、生まれ育った乙訓に誇りをもって頂くために、子供たちの記憶に残る体験を企画し実施することで、子供たちの心に愛郷心を育みます。そして、同室であるまちづくり委員会の各事業に積極的に参加し、さらに、自らの地域を守るために、実際の災害時を想定した防災訓練を行うことで、防災に対する意識の向上へ繋がります。また、次年度以降もまちづくり・人づくり団体として、新たなビジョンに向けて運動を展開するために、次代を見据えた会議を推進するとともに、情熱伝播委員会と連携を取り会員拡大に努めます。

むすびに、私自身、和やかな表情と愛がある言葉「和顔愛語」を心掛け、全ての人に背中を見て頂く姿勢で活動してまいります。委員会メンバーには、未来を担う人財を育成する委員会であることを意識し、自らの言動を律するとともに、常に前向きな言葉を口にし、何事にも打ち克てる委員会メンバーへと成長して頂きます。そして、そのような大人の言動を通じて子供たちに「愛や慈しみ」を伝えることで、生まれ育った地域に愛を実感できる乙訓の創造に繋がります。